

とおちっ子

十市小学校だより第31号

令和8年2月19日

文責 藤川 尚司

開催中のミラノ・コルティナオリンピックもはや終盤。日本選手団の活躍はもとより、各国から参加した選手が発揮する鍛え上げた技と力に、大いに驚かされたり感動を受けたりの日々です。先日のフィギュアスケートのペアで、日本人選手が金メダルを獲得した場面では、オリンピックの醍醐味を感じました。圧巻の演技に胸打たれ、各国の選手やスタッフがお互いの健闘をたたえ合う姿に心が震えました。選手の皆さんの卓越した技、ひたむきさ、熱い思いや情熱、スポーツマンシップなどなど、とても尊いなあとと思います。あと数日ですが、しっかりと4年に一度の場면을味わいましょう。

タブレット指南

コロナ流行期に一気に進んだ学校のGIGAスクールですが、あれからかれこれ5年が過ぎ、子どもたちに貸与しているタブレットPCの入替時期になりました。南国市でも市内各校の入替作業が進められ、本校も新しいタブレットが子どもの手が届きました。

リニューアルされたタブレットを引き続き学習用のツールとして活用し、情報化社会に生きて働く力が身につくよう努めていきたいと思えます。

さて、2月16日(月)に、6年生が1年生の教室を訪ねてタブレットの基本的な使い方を指南しました。学校にタブレット導入後、上級生はタブレットの使い方にすっかり慣れましたが、下級生はまだまだ十分になじんでいない部分もあります。今回は、6年生が先輩として1年生にタブレットの使い方をレクチャーし、タブレットになじんでもらおうという企画です。

まずはログイン。1年生にとっては、キーボードに配置されたアルファベットは難物です。ひとつひとつ指さしながら「ここ押して、次はここ…」とゆっくりと伝えていきます。

無事に全員ログインしたあとは、6年生がプログラミングの学習で作成したゲームを楽しみました。簡単なゲームでも、みんなとても面白そうで、あちこちで笑顔があふれていました。

最後は学校探検。校内のあちこちの教室入口に貼られた先生の写真を、「けがをした人が訪ねる教室は?」「本がたくさんある教室は?」などのヒントに沿って1年生が探します。そして、見つけた写真をタブレットで撮影し、何枚見つけたかを競います。6年生は1

年生に付き添って、画像撮影の仕方とデータの保存、共有の仕方を教えてくれました。

1年生に話しかけながら校舎を巡り、実にやさしく1年生に手ほどきする6年生の姿は、さすが卒業を控えた最上級生だと感じ、ほほえましく思いました。6年生のおかげで、きっと1年生はタブレットを身近に感じたことでしょう。

どろめ釜揚げ体験

2月17日(火)に、十市漁業協同組合さんのご協力で、4年生がどろめの釜揚げ体験をしました。

最初にどろめ魚について学習をしました。「どろめ」とはどんな魚種なのか、どうやって獲るのかなど、地元の漁業にまつわる話をたくさんうかがいました。パッチ網漁の由来が、網の作りがいわゆる「ももひき(パッチ)」に似ているからというのは発見でした。

学習の後はいよいよ釜揚げ体験。湯気の立つ釜にどっさりのどろめを

投入してしばらくすると、真っ白に茹で上がって「ちりめんじゃこ」に変身。網ですくって、いざ試食。「やわらかい!」「おいしい!」と子どもたちから声が上がりました。ゆでたのちりめんじゃこを食べる機会はあまりないですから、味わいもひとしおだったでしょう。

とても貴重な学習と体験をさせてもらいました。十市漁協の皆さん、関係の方々に感謝いたします。

